

東静岡アート&スポーツ/ヒロバ

石上和弘
彫刻家/静岡市在住
1966 静岡市生まれ
1991 武蔵野美術大学彫刻学科卒業
2015 『めぐりアート静岡』静岡県立美術館(静岡)
2017 『第27回UBEビエンナーレ』鳥取県吉賀町賞、市民賞受賞(山口)

東静岡アート&スポーツ/ヒロバ

白砂勝敏
造形家・演奏家/富士宮市在住
1973 静岡県駿東郡長泉町生まれ
2008 モンミューゼ沼津(沼津市立美術館)にて初個展(個企画)
2012, 2015 グラフィック社「Sチームバンク」東方研究所25「作品掲載」
2014 『渋谷芸術祭 -SHIBUYA AWARD-』ヒカリエ(東京)

東静岡アート&スポーツ/ヒロバ

岩野勝人
彫刻家/京都府在住
1961 徳島県三好郡三加茂町(現、東まよし町)生まれ
1988 京都市立芸術大学美術学部美術科彫刻専攻 卒業
2008 『IWANO MASAHITO』現代アートによる徳島再見、徳島県立近代美術館(徳島)
2014 『Erosion/Transmigration』侵蝕と変容の先河の両面性へー岡芸展(京都)

東静岡アート&スポーツ/ヒロバ

千葉広一
美術家/静岡市在住
1967 埼玉県浦和市(現、さいたま市)生まれ
2012 個展「いつかどこかきつと」ギャラリー-sensenci(静岡)
2013 「写真新報展2013」(共催) 東京都写真美術館(東京)

東静岡アート&スポーツ/ヒロバ

木下琢朗
彫刻家/掛川市在住
1977 静岡県御殿場市生まれ
2000 東北芸術工科大学美術科彫刻コース卒業
2005 『富嶽ビエンナーレ』入選 静岡県立美術館(静岡)
2012 個展「こたまするかた」アートカザヤマ(静岡)

静岡県立美術館

鈴木諒一
美術家/東京都在住
1988 静岡市生まれ
2011 多摩美術大学美術学部芸術学科卒業
2013 東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修了
2012 『EMON Portfolio Review 第1回』グランプリ受賞展「郵便機」

静岡市美術館

杉山功
彫刻家/イタリア カッラーラ在住
1954 静岡県清水市(現、静岡市清水区)生まれ
1977 東京造形大学彫刻学科卒業(2期まで同大研究室に在籍)
1983 カッラーラ美術アカデミー(イタリア)入学(90卒業)
1987年頃より主にヨーロッパで個展、グループ展多数
1992 『新世代日本-イタリア展』ローマ国立近代美術館、日本文化館(ローマ)

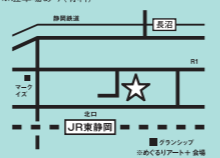
中勘助文学記念館

ノエル・エル・ファロル
美術家/フィリピン在住
1961 フィリピン、マニラ生まれ
1984 フィリピン女子大学芸術学部卒業
2004 フィリピン大学デリマン校卒業(学士 考古学)
2016 「フィールドノート-1980-2016」国立文化芸術委員会キャラクター、マニラ(フィリピン)

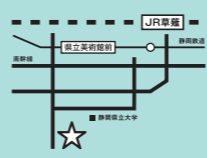
関連イベント

参加無料/問合せ めぐるりアート静岡2018 HP「お問い合わせ」にて
白砂勝敏ライブ&ワークショップ
白砂勝敏 デジタルドゥ・ソロライブ
白砂勝敏(ディジュ)×KAERU(カリンバ)
“宇宙の記憶”ライブ
★ディジュに挑戦～初心者向け～
★パーカッションに挑戦～カホン、ジャンベ、コンガ初心者向け～
★みんなでディジュを吹きましょう～初心者から上級者まで～
10代を生きる者の美術館あるいは祈りの場
めぐりアート+
ウィルフリド・ゴンザレス ×幸せ探し/やすらか～
ウィルフリド・ゴンザレス アーティストトーク
アーティストトーク
参加無料/申込不要
10/21 白砂勝敏 10/21 石上和弘 10/27 ノエル・エル・ファロル 10/28 岩野勝人
11/4 鈴木諒一 11/10 木下琢朗 11/10 千葉広一 11/25 杉山功

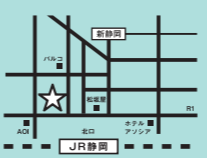
東静岡アート&スポーツ/ヒロバ
Tel:054-221-1229(8:30~17:15 平日のみ)
静岡市観光交流文化局 まちは劇場推進課
コンテナギャラリー 開館時間:11:00~18:00
車庫車ギャラリー 開館時間:18:00~21:00
休館日:月曜日 JR東静岡駅北口すぐ ※駐車場あり(有料)



静岡県立美術館
〒422-8002 静岡市駿河区谷田5-2
Tel:054-263-5755
開館時間:10:00~17:30 休館日:月曜日
JR「草薙駅」から徒歩15分 ※駐車場あり(有料)



静岡市美術館
〒420-0852
静岡市葵区稲垣町17-1 葵タワー3F
Tel:054-273-1515
開館時間:10:00~19:00
休館日:月曜日
JR静岡駅北口より徒歩3分



中勘助文学記念館
〒421-1201 静岡市葵区新間1089-120
Tel:054-277-2970
開館時間:10:00~17:00 休館日:月曜日
バス:しずてつジャストライン
静鉄新静岡(セノバ)またはJR静岡駅北口より
薬料線約25分(「見せ寺入口」下車 ※駐車場あり)



めぐりアート静岡 2018
4つの会場をめぐる、アートの散策。
10/23 Tue - 11/11 Sun
ヒロバのみ10/20から
静岡市美術館のみ11/25まで
東静岡アート&スポーツ/ヒロバ = 白砂勝敏 石上和弘 木下琢朗
岩野勝人 千葉広一 静岡県立美術館 = 鈴木諒一
静岡市美術館 = 杉山功 中勘助文学記念館 = ノエル・エル・ファロル
http://megururi.net
主催:静岡大学、静岡県立美術館、静岡市美術館、静岡市、(公財)静岡市文化振興財団
平成30年度 文化庁 国際文化芸術発信拠点形成事業 観覧無料

めぐりアート静岡とは・

「めぐりアート静岡」は、今を生きるアートを紹介する展覧会です。静岡大学を中心に2013年から始まり、6回目を迎えます。静岡から芸術を発信する場の創出を目指して、今年は市内4か所で開催します。会場をめぐりながら、海外を含む8人の多彩な表現に出会うことで、見慣れたまちが違って見えるかもしれません。



(富士山昇車) 2015

石上和弘

石上和弘は、今展では東静岡ヒロバに搭乗できる車両型の作品を設置する予定である。横倒した円錐形の車輪4つとブリッジ。彫刻的な量感や動勢をはらみつつも、フレームで構成される作品は周囲の人や風景と一体化するだろう。古今、東海道の要所であるこの場にふさわしいテーマでもある。楽しい作品を期待したい。



(自作ディジュリッド) 制作 2013

白砂勝敏

白砂勝敏は音楽を奏で造形をおこなう。いずれも独学。20代は造園業の傍ら、過半の時を放浪に明け暮らした。たとえば沖縄で、ディジュリッドの演奏に出会い、地を這うような古代音に惚れたという。白砂の中で音楽と美術は表裏一体だ。木・竹・土・石・廃品などから「創造の泉」を掘り当て、新しい生命を与える。

木下琢朗

「刀耕火種」とは焼畑農業の意。そこには自然と人との深いつながり、また生命のサイクルへの共感が込められている。木下は2017年「天竜アートキャンプ」に参加し、その森の美しさ、営々と受け継がれる自伐林家の営みに深い感銘を受けたという。ヒロバに撒かれた森の「種」は、私たちの心に何を発芽させるのだろうか。



(刀耕火種) 2017

静岡県立美術館 10/23日 - 11/11日

鈴木諒一

鈴木諒一は、写真を主な表現手法とするが、写真家と言うにはそのアプローチの仕方はユニークだ。彼はしばしば書物を撮影対象とし、オリジナルとは異なるメッセージや新しいイメージを提示する。また新作《緑の光線》は、花束をメディアの一種として捉え直したものだという。彼の作品は、表現や伝えることに正面から向き合った結実と言えるだろう。



(緑の光線) 2018



会期中、4つの会場すべてのスタンプを集めた方、先着100名にオリジナル「めぐりノート」をプレゼント！静岡県立美術館、静岡市美術館、中勘助文学記念館の会場にて引き換えができます。



(紅葉) 2017

千葉広一

東静岡の「ヒロバ」は旧国鉄貨物駅の跡地である。車体製造1952年という千葉広一の車掌車は、2016年に「ヒロバ」に移設され、旅路の記憶が刻まれたギャラリーとして出現した。それは、いつかどこか通り過ぎた駅。駅舎であり待合室、客車、そして旅立ち。今年は日暮れからの公開を予定。夜の車窓に、千葉の優しい情景が浮かぶ。

10/23日 - 11/25日 静岡市美術館

杉山功

杉山功は、1983年イタリアに渡り、良質な大理石の産地として知られるカッラーラのアートアカデミーに入学。以来ずっと彼の地で制作している。大理石にときに木を組み合わせたその作品は、イタリア語で「SANTUARIO」(聖域)と題される。地中海世界の晴朗な石の文明と八百万の日本の木の文化-悠久の二つの流れが、静謐な造形のうちに思案されている。



(SANTUARIO No.420) 2017



(雪) 2010

ノエル・エル・ファロル

私たちは、文化・習俗や時代を異にする他者の生のありようを、自らの内部に深く受けとめることができるのだろうか。N.E.ファロルは、様々な文書、遺物、図像、地図、デジタルアーカイブなどを精査し、断片を集め「復元」を試みる。時を受肉したそれらオブジェは、中勘助、そして文学記念館を流れる時に出会う。

東静岡アート&スポーツ/ヒロバ 10/20日 - 11/11日

中勘助文学記念館 10/23日 - 11/11日